

Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) 先天性代謝異常検査

区分	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
21	6,756	102.0	6,631	115	0	10	286	273	10	3	0	2	2	0	0	
22	6,731	101.2	6,568	144	1	18	320	283	25	8	4	9	7	2	0	
23	6,647	103.7	6,523	88	0	36	281	261	17	3	0	3	2	0	1	先天性副腎過形成症
24	6,429	101.5	6,262	129	2	36	324	273	39	12	0	14	11	2	1	ガラクトース血症
25	6,495	104.8	6,325	94	0	76	329	308	19	2	0	2	0	2	0	

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(2) クレチン症検査

区分	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
21	6,756	102.0	6,707	44	3	2	286	279	4	3	0	6	2	1	3
22	6,731	101.2	6,682	47	0	2	320	308	8	4	0	4	2	0	2
23	6,647	103.7	6,591	52	1	3	281	270	8	3	0	4	0	1	3
24	6,429	101.5	6,387	39	1	2	324	323	0	1	0	2	2	0	0
25	6,495	104.8	6,423	57	2	13	329	324	0	5	0	7	2	0	5

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(3) タンデムマス法検査

区分	初 回 検 査							再 検 査						精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果					検査数	結 果			
			カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	正常	経過観察	陽性
年度	25	—	1,036	5	0	1,081	0	47	45	2	0	0	0	0	0	0	0

* タンデムマス法検査は平成26年1月より導入されたため、上記2つの検査数と一致しない。

2. 母子保健推進事業

(1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日	出席者数
評価運営委員会	1) 健やか親子21推進について ・低出生体重児への取り組みについて 2) 先天性代謝異常等新生児マス・スクリーニング検査について 3) その他 ・行政栄養士の取り組みについて	9月5日	13
			13

(2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
中北	市町村担当者会議	・平成25年度保健所母子保健事業について ・各市町ごとの養育医療及び育成医療の支援状況について ・各市町情報交換(乳幼児健診の状況等)	9月12日	7
	市町村担当者会議	・産後ケアの情報提供 ・所在不明児の状況把握について ・保健所母子保健事業の状況 ・母子保健関係情報交換	3月7日	8
峡北	母子保健推進会議	実績無し		
	市担当者会議	1) 産後ケアセンターに関する情報提供 2) 健診未受診者への対応について	3月6日	7
峡東	母子保健推進会議	実績無し		
	市担当者会議	「第1回母子保健担当者会議」 ・保健所、各市の母子保健事業について ・母子保健に関する統計の分析結果について ・山梨県健やか親子21について 等	5月27日	8
		「第2回母子保健担当者会議」 ・山梨県健やか親子21について ・健康増進計画、次世代育成計画における母子保健施策の位置づけについて 等	12月26日	8
		「峡東保健所管内3市における5歳児健診あり方検討会」 ・各市の健診の取り組み状況について ・各市のフォロー体制について ・峡東地域で持続可能な健診体制について ・26年度以降の検討会について 等	3月14日	14
峡南	母子保健推進会議	実績無し		
	市町村担当者会議	・各町の幼児期の支援体制の現状について	10月15日	11
		・峡南地域5町の幼児期の療育支援の課題、対応などについて ・平成26年度の3町(身延町、南部町、富士川町)の健診及び二次相談事業体制について	11月11日	12
		・講義「幼児期の発達支援について考える」	1月20日	17
富士・東部	母子保健推進会議	実績無し		
	市町村担当者会議	① 富士・東部保健福祉事務所母子保健事業・取り組みについて ② 各市町村母子保健事業・取り組みについて ③ 情報提供 ・平成23年度富士・東部管内母子保健統計について ・各研修会について ④ 口唇口蓋裂児の家族会からの活動紹介	5月1日	21
			合計	113

(3) 研修

保健所名	内容	出席者数
中 北	実績なし	
峡 北	講義「禁煙できないホントの理由～気づきが生む禁煙への動機～」 —宮温泉病院 松尾邦功 医師 1) 効果的な禁煙指導の在り方について 2) 禁煙指導の成功例の紹介	14
峡 東	実績なし	
峡 南	実績なし	
富士・東部	テーマ:「赤ちゃんの健やかな発達のために」 内 容: 低出生体重児の成長・発達、病院でのフォローアップ、退院後の母子への指導方法について	20
合 計		34

(4) 事例検討会

保健所名	内容	回数	出席者数
峡 北	韮崎市事例検討会 ・母子事例を振り返り、支援のあり方の検討	1	12

(5) 母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し母子保健関係者等に閲覧、貸し出しをおこなう事業。
中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸し出しの内容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
21	0	46	0	46	0	0
22	35	44	3	14	26	1
23	35	58	1	14	19	24
24	35	35	4	4	29	0
25	31	31	2	4	26	0

3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

(1) 地域組織育成者等研修会

① 県実施

月日	内容	出席者数
2月26日	講義1 「母子保健における愛育班活動」 講義2 「地域保健活動に求められる組織とのあり方」 演習 実践的な支援技術を学ぶ(階層別グループ演習)	19

② 保健所実施

	内容	回数	出席者数
中 北	活動発表会、講演会	1	95
峡北支所	講演会、グループワーク	3	142
峡 東	活動発表会、研修会	2	44
峡 南	活動発表会	1	43
富士・東部	講演会	1	68

(2) 組織の状況

(平成25年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
中 北	4	28	432	5,512	71,130
峡北支所	3	47	281	1,730	33,933
峡 東	2	9	55	432	13,287
峡 南	5	13	121	457	7,874
富士・東部	7	9	36	422	20,554
計	21	106	925	8,553	146,778

(参考資料) 平成25年度版 全国市町村愛育班名簿

4. 長期療養児療育指導事業(平成25年度)

(1)療育等相談指導事業

①相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	その他長期療養児	計
実人数	34	35	10	17	102	11	31	11	15	7	15	7	295
延人数	45	41	12	20	107	11	22	11	16	8	16	12	321

②相談理由

	相談結果			
	指導済み	経過観察	他機関紹介	その他
家庭看護	52	11	4	
食事・栄養	7	2	1	
歯科保健				
福祉制度の紹介	6	4	1	
精神的支援	7	3	1	
学校等との連携調整		5	2	
その他	24	1	3	2
計	96	26	12	2
養育医療給付児(再掲)	5	3		
育成医療給付児(再掲)				
小児慢性特定疾患給付児(再掲)	70	20	11	2

(2)巡回相談事業

①個別相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	その他長期療養児	計
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②集団相談

管内	相談者数	内容
富士・東部	98	理学療法士市町村巡回相談

(3)ピアカウンセリング

管内	回数	参加数(再掲)	内容
峡東	1	7	0 発達障害児の保護者の自主サークル(児の就学について情報交換)
峡南	2	15	0 就学や食事に関する意見交換(小慢受給児対象) I型糖尿病に関する情報交換
富士・東部	2	6	7 未熟児のつどい「先輩ママからの話」 成長ホルモン分泌不全性低身長症のつどい [先輩ママへの質問と相談]
計	5	28	7

(4) 交流会、学習会

管内	回数	参加者数	(再掲) 児	内容
中北	4	21	3	慢性心疾患児の保護者のつどい、慢性腎疾患児の保護者のつどい、糖尿病の児の保護者のつどい、学習会「病気をもつ子の思春期の特徴と親の関わりについて」
峡北	10	39	16	長期療養児の家族のつどい
峡南	2	15	0	未熟児のつどい「先輩ママからの話」 成長ホルモン分泌不全性低身長症のつどい 「先輩ママへの質問と相談」
富士・東部	3	10	11	学習会「未熟児の成長発達について」 交流会「成長ホルモン分泌不全性低身長症のつどい」
計	19	85	30	

(5) 支援関係機関(者)連絡会議

管内	参加者		処遇検討したケース数	内容
	回数	人数		
中北	12	123	44	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性代謝異常の児の退院前カンファレンス ・小児医療受給児退院前カンファレンス ・小児医療給付申請者の処遇検討 ・継続ケースの支援検討
峡南	5	41	5	<ul style="list-style-type: none"> ・支援状況の情報共有 ・課題の検討
富士・東部	4	28	46	<ul style="list-style-type: none"> ・養育医療、育成医療、小児慢性特定疾患事業給付児の支援の方向性の検討
合計	21	192	95	

(6) 発達等母子保健専門相談(遺伝相談)(平成25年度)

①各保健所での保健師による一次相談

	相談実件数			相談延件数	相談来所延人数	医師との相談紹介実件数
	来所相談	電話相談				
中北	3	1	2	3	1	3
峡北	2	2	0	2	2	1
峡東	0					
峡南	0					
富士・東部	2		2	3	0	2
計	7	3	4	8	3	6

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談		疾患による発達への影響について こどもの発達に伴い病気についてどう説明するか
イ 疾患に関する相談	3	特定疾患の児の治療・生活について 疾患をもつ児のきょうだい子どもへの遺伝について 第2子の発症の可能性。子どもへの遺伝の確率
ウ 出生前診断に関する相談		出生前診断について
エ その他	4	習慣性流産について 次子の妊娠について 妊娠・出産に対し遺伝に関する不安
計	7	

②医師による二次相談

相談申し込み保健所名	相談申込件数	相談実件数	相談延件数	相談来所延人数	相談終了実件数	相談継続実件数
中北	3	3	3	3	0	0
峡北	1	1	1	1	1	0
峡東	0	0	0	0	0	0
峡南	1	1	1	2	1	0
富士・東部	1	1	1	1	1	0
合計	6	6	6	7	3	0

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談	1	ダウン症候群の発達、兄弟との関わりについて
イ 疾患に関する相談	3	疾患をもつ児の子どもへの遺伝について 疾患をもつ児のきょうだいへの遺伝について 子どもへ遺伝していないか、第2子について
ウ 出生前診断に関する相談	1	出生前診断について
エ その他	3	ダウン症候群の児の自傷行為への対応について 疾患をもつ児への疾患の説明方法について 次子の妊娠について
計	8	

5. 女性健康相談事業(平成25年度)

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
21	28	5	41	5
22	23	3	40	3
23	10	395	18	399
24	56	583	64	584
25	36	549	38	549

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行

6. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
21	55	34	107	91
22	56	22	157	61
23	71	22	170	64
24	90	34	236	97
25	93	29	281	88

平成16年4月開設

7. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
21	321	568	191	80,447,629
22	380	587	186	84,497,161
23	398	722	195	102,402,681
24	469	828	251	118,200,071
25	497	871	239	115,072,259

- ・平成19年度：1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成21年度：1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成23年度：1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成
- ・平成25年度:C(以前凍結した胚を用いた移植及びF(受精に用いられる卵が得られなかった)場合の助成額が7万5千円に変更

8. 小児医療給付

(1) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	23	24	25					
			総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
～ 1,000g	19	22	20	8	3	6	2	1
1,001g ～ 1,500g	35	37	28	12	2	8	0	6
1,501g ～ 1,800g	28	28	26	11	3	9	1	2
1,801g ～ 2,000g	39	39	28	12	5	3	0	8
2,001g ～ 2,300g	1	2	1	0	1	0	0	0
2,301g ～ 2,500g	1	1	0	0	0	0	0	0
2,501g ～	3	2	0	0	0	0	0	0
合 計	126	131	103	43	14	26	3	17

(2) 小児慢性特定疾患治療研究事業給付状況

区分	年度		
	23	24	25
悪生新生物	79	75	120
慢性腎疾患	64	68	87
慢性呼吸器疾患	42	37	47
慢性心疾患	37	40	57
内分泌疾患	280	261	259
膠原病	27	26	35
糖尿病	46	47	54
先天性代謝異常	30	26	28
血友病等血液疾患	23	17	20
神経・筋疾患	29	31	50
慢性消化器疾患	32	29	41
合 計	689	657	798

(3) 育成医療給付状況

区分		年度		25					
		23	24	総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
肢体不自由	入院	19	26	16	7	2	3	0	4
	通院	26	25	18	11	2	2	0	3
視覚障害	入院	8	15	9	7	0	1	0	1
	通院	12	14	11	8	0	1	0	2
聴覚・平衡機能障害	入院	6	2	2	1	1	0	0	0
	通院	6	1	1	1	0	0	0	0
音声・言語機能障害	入院	41	40	24	7	2	4	4	7
	通院	121	124	116	46	20	33	3	14
心臓障害	入院	53	52	47	19	8	8	2	10
	通院	2	2	2	1	0	0	0	1
腎臓障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	4	2	2	1	1	0	0	0
小腸障害	入院	1	1	0	0	0	0	0	0
	通院	1	0	0	0	0	0	0	0
肝臓障害	入院	0	1	1	0	0	1	0	0
	通院	1	0	1	1	0	0	0	0
その他の内臓障害	入院	16	16	15	6	1	4	1	3
	通院	14	14	11	6	1	1	0	3
免疫機能障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		331	335	276	122	38	58	10	48

* 平成22年度から肝臓障害が追加

9. 未熟児養育医療指定医療機関・搬送用保育器等設置状況

保健所	未熟児養育医療指定医療機関	搬送用保育器設置機関	年度				
			21	22	23	24	25
中北	国立甲府病院、県立中央病院、甲府共立病院、市立甲府病院、山梨大学医学部附属病院	国立甲府病院 (甲府市医師会)	1	4	26	0	1
		県立中央病院 (甲府市医師会)	59	62	69	49	72
		田辺産婦人科医院 (中巨摩医師会)	3	3	1	0	0
峡北		韮崎助産院 (北巨摩医師会)	0	0	0	0	0
峡東		中村産婦人科医院 (東山梨医師会)	2	0	0	0	0
		長坂クリニック (笛吹市医師会)	3	1	0	3	4
峡南	※H12年度より設置中止		-	-	-	-	-
富士・東部	富士吉田市立病院、山梨赤十字病院	山梨赤十字病院 (富士吉田医師会)	2	6	5	8	8
		都留市立病院 (都留市医師会)	0	0	0	0	0
計	7施設	8施設	70	76	101	60	85